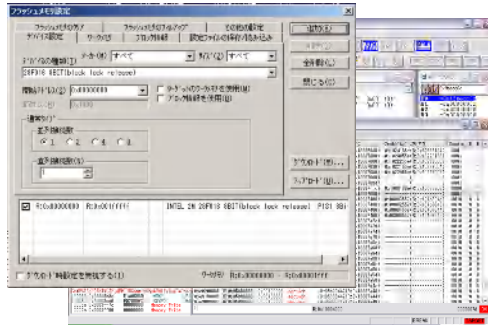


WATCHPOINT Writer for EJSCATT ARM



JTAGエミュレータ「EJSCATT」との組合せで使用します



- 小型サイズ(70mm×108mm×17mm)
- USBバスパワーのみで動作可能(デバッグ及びPC接続のライターとして使用時)

■ 基板の配線切断、MPUの端子状態を確認できるソフトウェア「Query-J」が動作可能^{※5}

特長

- 他のCPUシリーズをデバッグする場合、ハードウェア本体は共通でソフトウェアの追加購入で対応できます
- フラッシュメモリへのダウンロード機能
- オンボードまたはCPU内蔵フラッシュメモリへの書き込み機能
- スタンドアロンライターとして単体使用可能です(ACアダプタで動作)
- 本体のPLAYボタンによりワンタッチデータ書き込み可能
- 信号入力によりスクリプトを実行し、スクリプト終了状態を外部で検出する為の、外部端子設定機能
- 量試、量産品の自動検査、バージョンアップ装置として利用可能

- ARM社ライセンスのARM7TDMI[®]、ARM9TDMI[®]、ARM11、Cortexコア(A9MPCore,A8,R4,M0/M3/M4)をサポート
 - ・ CPU個別の詳細設定が可能。
 - ・ CPU自動検出機能搭載
- Cortex-Mのハーフピッチコネクタに対応
- ドッキングウィンドウ機能
 - ・ 作業スペースの拡張、整理に役立ちます。
- C/C++高級言語対応 (動作OS: Windows2000/XP/Vista/7^{※1})
- 各種PC^{※2}、ノートPCなどのホストマシンで動作(USB接続)
- 対象フラッシュメモリは、180種類以上
- 対象外のフラッシュメモリでも書き込みプログラムを記述することで対応可能

主な仕様

対象CPU	ARM7コアシリーズ (ARM7TDMI、ARM7TDMI-S、ARM710T、ARM720T、ARM740T等) ARM9コアシリーズ (ARM9TDMI、ARM9TDMI-S、ARM910T、ARM920T、ARM940T ARM9E、ARM946E、ARM966E、ARM922、ARM925、ARM926等) ARM11コアシリーズ (ARM1136、ARM1176等)、Cortexコアシリーズ (A9 MPCore、A8、R4、M0/M3/M4)
ユーザ電源	VCC1.2~5.0V
フラッシュメモリ書き込み機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ メモリDUMP機能 ・ ファイルからのデータダウンロード ・ 書き込みは、書き込み用バッチファイルを記述し、ライターソフト上の書き込みボタンまたは本体のPLAYボタンで、外部端子への信号入力可能 ・ ブロックイレース機能 ・ スタンドアロンライター機能 添付のMicroSDにフラッシュメモリ書き込み操作手順を記憶させる事で、EJSCATT単体でフラッシュメモリへの書き込みが出来ます。 (2通りの操作手順で記録が可能)
対応フラッシュメーカー	ルネサステクノロジ、ニューモニクス(インテル、STマイクロ)、MACRONIX、シャープ、東芝、NEC、三洋、ATMEL、SST、OKI、SPANSION(富士通、AMD)、EON

※1 Windows XP Professional x64Edition(64ビット版)およびWindows Vista/7(32ビット版、64ビット版)に対応しています。
 ※2 一部の機種において動作チェックの必要がありますので、事前に確認のほどお願いいたします。
 ※3 記載のない対象フラッシュメモリについては、お問い合わせください。
 ※4 本ライターは、フラッシュメモリへデータダウンロードを行う為の機能が必要最小限搭載されております。ブレークポイント機能、レジスタ機能、ステップ機能等、デバッグに必要な機能は搭載されておりません。デバッグでご使用になる場合は、WATCHPOINT Debuggerをお求めください。
 ※5 使用しているデバイスのBSDLファイルが必要です。

製品構成

商品構成 以下のものが同梱されます。



■CD-ROM



■JTAGケーブル
SCP7500 SCP 20to20

※本製品は、Cortexコア、ARM7コア、ARM9コア、およびARM11コアのCPU対応用として開発された製品です。他のCPUのフラッシュメモリの書き込みには使用することができません。

読み込みオブジェクト:

フラッシュメモリへ書き込む対象オブジェクトには下記のコンパイラ出力に対応しています。

- ・ARM : ADS、SDT、RealView
- ・Metaware : High C/C++/EC++ for ARM
- ・GreenHills : GHS
- ・GAIO : XCC-V
- ・GNU
- ・IAR : EWARM

ターゲット接続

JTAGヘッダーコネクタピン配置 (上面視図)

0.1 inch 2 × 10 Connector

VTRef	1	2	VSupply
NC (nTRST)	3	4	GND
NC (TDI)	5	6	GND
SWDIO (TMS)	7	8	GND
SWCLK (TCK)	9	10	GND
NC (RTCK)	11	12	GND
SWO (TDO)	13	14	GND
nSRST	15	16	GND
DBGRRQ	17	18	GND
DBGACK	19	20	GND

推奨コネクタ:
7620-6002
(住友スリーエム株式会社)
VTRef: ターゲット電源へ接続
Vsupply: ターゲット電源へ接続

0.05 inch 2 × 5 Connector

VTRef	1	2	SWDIO / TMS
GND	3	4	SWCLK / TCK
GND	5	6	SWO / TDO
KEY	7	8	NC/EXTb / TDI
GNDDetect	9	10	nRESET

推奨コネクタ:
SHF-105-01-L-D-**
(SAMTEC)
VTRef: ターゲット電源へ接続
接続には、オプションケーブル: SCP7200 が必要です。

0.05 inch 2 × 10 Connector

VTRef	1	2	SWDIO / TMS
GND	3	4	SWCLK / TCK
GND	5	6	SWO/EXTa/TRACECTL / TDO
KEY	7	8	NC/EXTb / TDI
GNDDetect	9	10	nRESET
GND	11	12	TRACECLK
GND	13	14	TRACEDATA[0]
GND	15	16	TRACEDATA[1]
GND	17	18	TRACEDATA[2]
GND	19	20	TRACEDATA[3]

推奨コネクタ:
SHF-110-01-L-D-**
(SAMTEC)
VTRef: ターゲット電源へ接続
接続には、オプションケーブル: SCP7300 が必要です。

WATCHPOINTソフトウェアライセンスについて

WATCHPOINT Writer for EJSCATT ではライセンス・システムを採用しています。インターネットを利用し、ソフィアシステムズのライセンスデータサーバーにアクセスしてライセンスを取得します。ライセンスを取得するとライセンスファイルが生成されます。ライセンスファイルはPCを移動して使用することができます。1台のJTAGエミュレータに対して複数種類のWATCHPOINTライセンスを取得する(関連付ける)ことができます。

※WATCHPOINTライセンスは一度関連付けたJTAGエミュレータのみで使用可能です。別のJTAGエミュレータで使用する場合は、ソフトウェアを追加購入してください。

セレクション・ガイド(製品ご購入ガイド)

お客様側にてご用意		標準的なライターシステム構築に購入必要な製品			オプション
ホストPC※1	PCとの接続	JTAGエミュレータ	ソフトウェアライター (WATCHPOINT)	サポートサービス	ハーフピッチ・ケーブル
WindowsPC	USB2.0/1.1 接続	SCD001J EJSCATT	SCS0790 WP WRT for EJS ARM	SSS010 ソフィア・サポート・サービス	SCP7200 SCP CortexMx-PB-HF10-JCB SCP7300 SCP CortexMx-PB-HF20-JCB SCT001 Query-J

太枠口で囲まれた部分の製品は標準的なライターシステム構築時に必須となる製品です。JTAGエミュレータはソフトウェアライターライセンスご使用時、ハードウェアキーの役割を果たします。

※1 ホストPC環境
OS: Windows 2000/XP Professional x64Edition (64ビット版) および Windows Vista/7 (32ビット版、64ビット版) に対応しています。
メモリ: Min 32MB以上・推奨64MB以上、HD容量: インストール時100MB必要。

- * 各製品は、各社の商標または登録商標です。
- * 製品の仕様は予告なく変更する場合があります。

お問い合わせは最寄りの営業所へ

- 本社営業部 (044)989-7253
- 大阪営業所 (06)4805-8505(代)
- 名古屋営業所 (0586)28-7365(代)

(MKT-23CAP24)

標準システム価格はお問い合わせください